

金剛寶戒寺便

<https://www.houkaiji.jp>

令和五年七月一日発行 第一二二号

檀信徒の皆様こんにちは。

令和五年六月五日（月曜日）晴れ。これまで長年に渡ってお世話になつてきた庫裏の解体工事の日がやってきました。全ての荷物を移した後、お酒と塩を撒き、これまでの感謝を伝えました。籠城していた城を敵兵に引き渡すかのような心境でしたが、解体業者の若者たちには全く関係ないことで、庫裏が分別されていく音を聞くのが嫌になり、足早に月参りに伺いました。午前中のお参りが終わってお寺に戻つてくると、痩せこけた庫裏が病弱な親の様にも見えてきて辛かったです。その様な状況が数日続きましたが、中庭に咲くダリアの花を、業者の人たちが踏みつぶすこともなく残しておいてくれるという優しさにも気づき。少しずつ気持ち楽になっていきました。

六月二十七日（火曜日）梅雨の最中、週間天気予報ではずつと雨の予報だったにも関わらず、朝からの晴天に恵まれて地鎮祭が無事に執り行われましたことをご報告いたします。横浜より叔父の三會寺住職 安藤尊仁僧正に導師をお願いし、総代様と上野にお住いの有志の方々にもご参列を頂きました。土地の神様に新しく庫裏と法要会館を建立する旨のお

ことわりを入れ、工事が無事故で無事に完成することを祈念いたしました。

その後は場所を本堂に移し、皆さんと粗飯を囲みました。お寺の歴史や上野の昔話、各々のご先祖様の話などに花が咲き、まるでお寺の年忌法要をしている様な、とても楽しい時間を過ごすことが出来ました。

今回は本堂でのお食事でしたので長机に座布団で、当に膝を突き合わせる様な形での会食となりましたが、新しく法要会館が出来るテーブルと椅子になり、膝の悪い方々も兼ねなく利用できるようになります。どちらにもそれぞれの良さがあるとは思いますが、より皆様に親しまれるお寺に変えていくことを改めて決意いたしました。地鎮祭ということで、土地の神様はもとより、晴天をもたらししてくれた天の神様にも祝福されていることを実感した一日でした。平日のお忙しい中、また大変蒸し暑い日でしたが、ご参列いただきました皆様、本当にありがとうございます。

以前、庫裏が建っていたところは現在更地になっていきます。今は境内の景観などを考えて植栽の移植などを行っています。従って寺務所が不在となっておりますが、庫裏並びに法要会館が建立するまでは、墓地の向かいにあるクリーム色の実母の家に間借りをして寺務所兼庫裏としていきます。お問い合わせなどがある場合はそちらをお尋ねください。従って、

住所はこれまでと変更有りませんし、電話も転送をしていますので番号は変わりません。

時々留守番電話になってしまふことがあります。すが、着信に気付き次第こちらからお掛け直しを致しますのでしばらくお待ち頂けたらと思っております。

また、墓地までの間のアスファルトを重機などがから守るために鉄板を引いています。雨が降ると滑りやすくなりますので、気を付けてお参りください。基本的には土日祝日とお盆の三日間は工事をお休みする予定です。駐車場はこれまで同様、大日堂の南側をご利用ください。

八月六日（日曜日）朝六時より

本堂の大掃除並びに境内の草取り

*八月は盆月ですので講習会はお休みとさせていただきます。

お盆参りの予定表もほぼ出来上がっています。早めの棚経を希望される方は事前にお申込みください。工事中の作業音はしますが、本堂でのご供養も承っております。

今月は業務報告の様な内容になってしまいました。長雨が続き少し蒸し暑いですが、移植先の木々にとっては恵の雨になっているに違いありません。大雨の中でも休むことなく作業を続けてくれる皆さんに感謝です。多くの方々に助けられている事を実感しています。

合掌